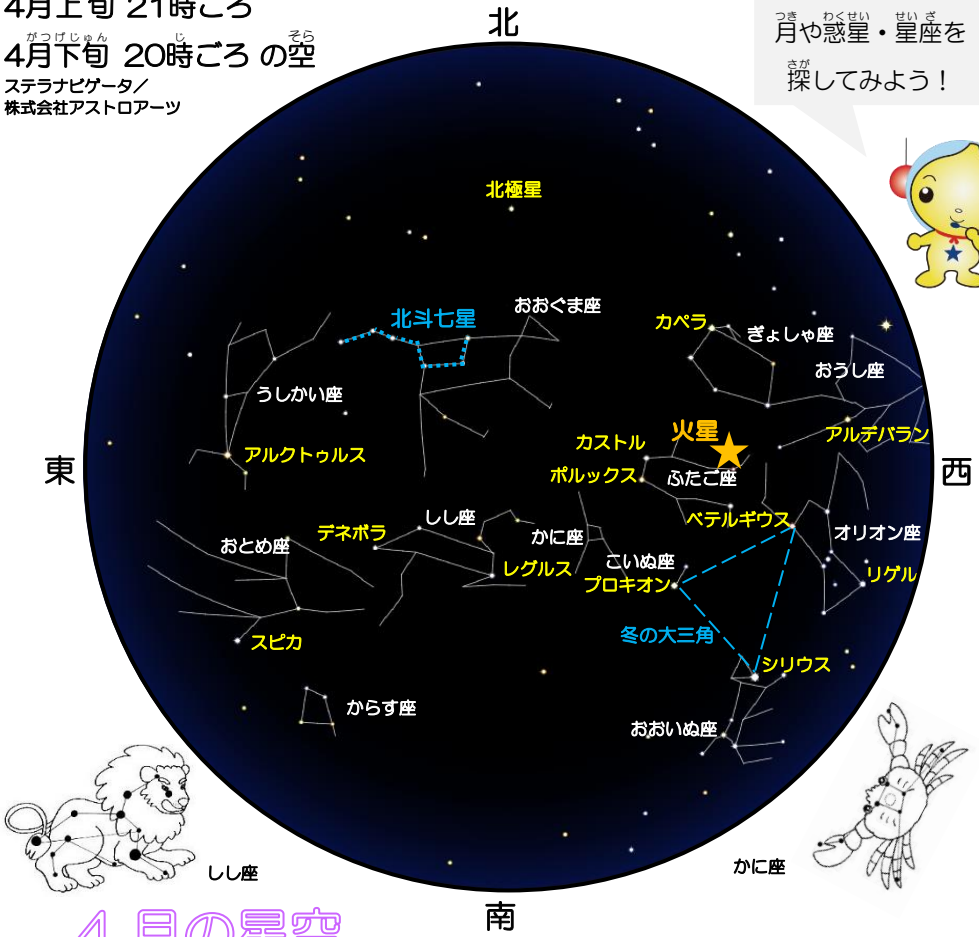
2023年

月刊 星空の散歩道 4月号

4月上旬 21時ごろ
4月下旬 20時ごろ の空

ステラナビゲータ／
株式会社アストロアーツ

月や惑星・星座を探してみよう！



4月の星空

☆宵空の主な星座と明るい星☆

西の空に冬の星座、東の空に春の星座が見える。

＜ 西 ＞	おうし座（アルデバラン）、ぎょしゃ座（カペラ）
	ふたご座（カストル、ポルックス）、オリオン座（ベテルギウス、リゲル）
	おおいぬ座（シリウス）、こいぬ座（プロキオン）
＜ 天頂 ＞	かに座、しし座（レグルス、デネボラ）
＜ 東 ＞	うしかい座（アルクトゥルス）、おとめ座（スピカ）
＜ 北 ＞	北極星、おおぐま座

☆天文トピック☆

4月12日　水星が東方最大離隔

日没後、西の空低い（高度10度）ところですが、2023年中では一番見やすいチャンスです。西が開けたところで双眼鏡等を使って観察してみましょう。

4月23日　月と金星が並ぶ

夕方、西の空で細い月ととても明るい金星が近づいて見えます。

4月26日　月と火星が並ぶ

月と火星が近づいて見えます。火星は昨年に12月に比べてずいぶんと暗くなってきました。

☆月の形の変化☆

4月　6日	満月	○
4月13日	下弦	◑
4月20日	新月	●
4月28日	上弦	◐

☆4月の惑星☆

水星…日没後、西の空低く（中旬）

金星…日没後、西の空

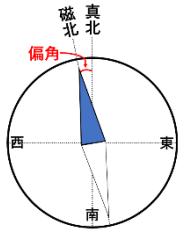
火星…日没後、西の空

＜天文コラム＞　「北」の話

一般的に、日常生活で「北」といえば、地理上の北を指します。地球の自転の軸が地表と交わるのが北極と南極で、「地理的な北や南」というのは、これらの極の方向を言います。ところで、方角を調べる道具のひとつに方位磁石があります。方位磁石のＮ極は北を向くことで知られています。これは地球全体が磁石の性質（地磁気）を持つことを利用しています。

地理上の北を「真北」、方位磁石が指す北を「磁北」と言いますが、実は真北と磁北には、ずれが生じています。これは、地球の地理上の極と地磁気の極が一致しないことが主な原因です。真北から見た磁北の角度を偏角と言い、偏角は国土地理院のホームページから調べることができます。（伊丹市は真北に対して磁北は約７度、西に傾いています）

地図や方位磁石を使う登山などでは北の向きが合わず、道に迷うかもしれません。普段の生活では正確な方角を意識することはあまりありませんが、知っていると役に立つかもしれませんね。



伊丹市立こども文化科学館　発行日　2023年3月20日
〒664-0839 兵庫県伊丹市桑津3丁目1-36　TEL：(072)784-1222
HP：http://business4.plala.or.jp/kodomo/